

令和元年度指定管理者モニタリング結果

施設名・住所	千歳市営牧場・育成畜舎（千歳市駒里1032番地の1ほか）
指定管理者	公益財団法人道央農業振興公社
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日（5か年の3年目）
評価担当	産業振興部 農業振興課

1 実施事業及び内容等	<ul style="list-style-type: none"> ・育成牛の通年管理 放牧 5月15日～10月15日（154日間） 育成畜舎 4月1日～5月14日、10月16日～3月31日（211日間） ・預託牛の入退牧業務 ・預託牛の健康管理及び授精に付帯する業務 ・採草地、飼料畑の生産管理に関する業務 ・農業機械及び牧場施設の管理業務 ・市営牧場利用料の徴収業務 ・管理報告業務 等
2 年間利用者数	<p>預入農家数は減少しているものの、1戸当たりの預託頭数が増加していることから、年間利用数（延受入日数）は前年比で12.2%の増加となった。</p> <p>《主な利用状況》（ ）は平成30年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預入酪農家戸数 19戸（20戸） ・5月在頭数 398頭（363頭）、8月入牧頭数 98頭（79頭）、育成畜舎頭数 334頭（291頭） ・延受入日数 119,217日（106,250日）※12,967日増 ・管理施設の利用状況【資料1】
3 事業収支 <決算状況（税込）>	<p>【資料2】（ ）は平成30年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入合計 47,722,272円（44,399,777円） 《主な内訳》 <ul style="list-style-type: none"> 指定管理料 20,623,000円（20,443,000円） 利用料金 26,771,870円（23,679,220円） ・支出合計 44,879,865円（41,282,876円） 《主な内訳》 <ul style="list-style-type: none"> 人件費等 17,760,126円（17,991,437円） 原材料費 11,919,348円（11,036,560円） ・収入－支出 2,842,407円（3,116,901円） 《収支差額の主な要因》 （収入増）・利用料金の増（+3,092,650円＝預託頭数の増加）
4 管理運営状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共牧場の有効活用を図ることを目的として利用者で組織する千歳市営牧場利用者協議会や石狩農業改良普及センター等の意見を聞きながら、配合飼料の適切な給餌を行い、良好な栄養状態となるよう努めている。 ・管理人住宅に職員1名を常駐し、緊急時の連絡体制を整えている。 ・電気牧柵による放牧地の分割管理を行い、効率的な運用を図っている。 ・北海道公共牧場会主催の研修に職員1名が参加し、職員の技術向上に努めている。 ・専門機関である石狩農業改良普及センターやみなみ北海道農業共済組合、北海道石狩家畜保健衛生所と連携し、良好な飼養衛生管理や健康管理に努めている。
5 自主事業の達成状況	<ul style="list-style-type: none"> ・防疫上の観点から自主事業は実施していないが、酪農学園大学から6名ずつ4回にわたり計24名、北海道大学獣医学部からも42名の実地研修を受け入れるなど、公共牧場として獣医師の育成に貢献している。

<p>6 市民サービスの向上を図るための取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「千歳市営牧場利用者協議会」において、次のとおり意見があった。 <ul style="list-style-type: none"> ①牛舎パドックの破損箇所の改善。 ②配合飼料の適切な給餌の継続。 ③発育不良の牛へのケア。 これらの意見を反映し、牛舎パドックの補修及び配合飼料の適切な給餌を継続するとともに、入牧当初からの発育不全・栄養不良等を解消するため、獣医の指導を仰ぎ対象牛のみ給餌量を増やすなど個別の対応を強化し、発育不良を改善している。 ・預託希望頭数が増加しており、8月入牧で若い牛の受け入れを一部制限したものの、適正な管理が可能な範囲で受け入れ頭数を増やし、利用者の希望に応えられるように努めている。 ・飼料用の牧草生産について、乾燥期間を短縮できる牧草ラップサイレージの比率を高め、正品率が向上したことにより、預託牛の増加にも対応できている。 ・牛舎内の飼槽の配置を見直し、全ての牛が同時に餌を食べられるよう工夫した。
<p>7 評価 ＜総合コメント＞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人材を適切に配置し、繁忙期や緊急時の体制を整えている。職員の退職があったが、早期に補充対応を行い、良好な管理体制の維持に努めている。 ・放牧地の分割管理や飼槽配置の工夫など、施設の有効活用や効率的な運用に取り組み、利便性の向上に努め、受入希望頭数の増加にも対応できている。 ・良質な飼料の確保や必要量が確保できる対策を講じ、受入環境の向上に努めている。 ・給餌方法の見直しや栄養状態に応じて個別給餌するなど、きめ細かいサービスの提供に取り組んでいる。 ・職員研修を実施し、飼養管理技術の向上に取り組むとともに、関係機関と連携をとりながら、利用者が安心して預託できる牧場の運営に努めている。経験が浅い職員には業務経験や研修を通じ、さらなる技術の向上を期待する。 ・市で実施した利用者アンケートにおいて、利用者から概ね満足しているとの回答を得ていることから、適正に管理運営がなされていると評価できる。【資料3】 ・牧場管理職員は、日頃から、入・退牧や検査時、その他利用者と会う様々な機会において、意思疎通を綿密に行っており、利用者の声を聞きながら管理運営にあたり利用者との信頼関係を築くとともに、満足度を高めているものと評価できる。

管理施設の利用状況

月	令和元年度			
	月初在頭数	入牧頭数	退牧頭数	月末在頭数
4	204	0	20	184
5	184	282	70	396
6	396	0	10	386
7	386	0	23	363
8	363	98	46	415
9	415	0	13	402
10	402	0	68	334
11	334	0	5	329
12	329	0	11	318
1	318	0	30	288
2	288	0	23	265
3	265	0	35	230
計		380	354	

管理経費の収支状況（税込）

【収入】

（単位：円）

項目	内 訳	金 額	備 考
受託収入	千歳市営牧場・育成畜舎指定管理料	20,623,000	
使用料金収入	千歳市営牧場・育成畜舎利用料金	26,771,870	
雑収入	貯金利息	282	
	配合飼料市況対策費	195,900	
	パイオニアデントコーン種子奨励金	131,220	
	収入合計	47,722,272	

【支出】

項目	内 訳	金 額	備 考
人件費等	給料手当	9,390,835	
	臨時雇賃金	5,901,751	
	法定福利費	2,404,218	健康保険、厚生年金等
	福利厚生費	63,322	職員健診費等
	小 計	17,760,126	
修繕費	農業機械修理	2,974,104	トラク、テグター等修理
	小 計	2,974,104	
賃借料	自走給餌車	204,262	自走給餌車リース料
	借上車両・農機具他	215,464	自家用車借上げ、ローラー、ハダソ ブロン借上げ等
	小 計	419,726	
車両費	車両費	472,828	ダンプカー、家畜運搬車車検
	車輛任意保険料	142,180	ダンプカー、トラクター任意保険
	小 計	615,008	
施設管理費	機械警備料	261,600	機械警備委託料
	消防設備点検	59,900	設備点検委託料
	小 計	321,500	
原材料費	肥料・種子	10,664,618	
	薬品他	1,231,520	消毒薬、サロトフィルム等
	貯蔵品	23,210	
	小 計	11,919,348	
旅費交通費		3,950	公共牧場会実務者研修出席
研修・講習会費		110,300	大型特殊免許取得
会議費		7,466	
通信費		153,776	
印刷消耗品費		738,536	
水道光熱費		1,194,449	
燃料費		1,944,220	
租税・公課		8,700	
負担金		15,000	公共牧場会負担金15,000
飼料費		2,937,228	鉱塩・配合飼料
手数料		73,880	免税軽油申請、廃プラ処理料 等
委託料	千歳市営牧場に係る調査業務	1,269,000	農業共済業務委託料
消耗備品費		421,066	油圧ブ以等
雑費		21,918	
保険料	損害賠償責任保険	110,190	
消費税		1,860,374	
	支出合計	44,879,865	

【収入】 - 【支出】

2,842,407

管理経費の収支状況（税込）

【収入】

（単位：円）

項目	内 訳	金 額	備 考
受託収入	千歳市営牧場・育成畜舎指定管理料	20,443,000	
使用料金収入	千歳市営牧場・育成畜舎利用料金	23,679,220	
雑収入	貯金利息	206	
	配合飼料市況対策費	140,400	
	粗飼料分析推進強化対策費	0	
	免税軽油に係る地球温暖化対策税還付金	10,591	
	バイオニアデントコーン種子奨励金	126,360	
	収入合計	44,399,777	

【支出】

項目	内 訳	金 額	備 考
人件費等	給料手当	10,682,833	
	臨時雇賃金	4,706,142	
	法定福利費	2,522,759	健康保険、厚生年金等
	福利厚生費	79,703	職員健診費等
	小 計	17,991,437	
修繕費	農業機械修理	1,793,201	ブロードキャスター、ペーラー等修理
	小 計	1,793,201	
賃借料	自走給餌車	201,463	自走給餌車リース料
	借上車両・農機具他	128,730	自家用車借上げ、ローラー・ハダソウワゴン借上げ等
	小 計	330,193	
車両費	車両費	402,590	ダンプカー、家畜運搬車車検
	車両任意保険料	147,980	ダンプカー、トラクター任意保険
	小 計	550,570	
施設管理費	機械警備料	259,200	機械警備委託料
	消防設備点検	54,000	設備点検委託料
	産業廃棄物処理料	30,326	廃プラスチック処理
	小 計	343,526	
原材料費	肥料・種子	10,165,236	
	薬品他	91,754	泥滓化対策資材、スタッフリスト等
	貯蔵品	779,570	
	小 計	11,036,560	
旅費交通費		9,360	公共牧場会総会出席等
研修・講習会費		5,500	公共牧場会主催研修会参加費
会議費		13,201	
通信費		149,716	
印刷消耗品費		622,803	
水道光熱費		1,161,572	
燃料費		2,093,204	
租税・公課		4,900	
負担金		15,000	公共牧場会負担金
飼料費		1,779,266	鉱塩・配合飼料
手数料		31,797	免税軽油申請
委託料	千歳市営牧場に係る調査業務	1,269,000	農業共済業務委託料
消耗備品費		204,302	LED投光器ほか
雑費		39,183	
保険料	損害賠償責任保険	110,190	
消費税		1,728,395	
	支出合計	41,282,876	

【収入】 - 【支出】

3,116,901

千歳市営牧場・育成畜舎の運営に関するアンケート調査結果【千歳市が実施】

1 アンケート回答率（調査件数 38件 令和元年11月実施）

- 回答数 25件（回答率65.7%）
- 牧場利用者の回答数 13件（利用者19戸中13戸から回答があり回答率68.4%）

2 アンケート結果

(1) 市営牧場・育成畜舎の利用状況

- ① 利用している〔13〕
- ② 利用していない〔12〕

利用していない理由（複数回答）

- ・ 飼料設計や育成など自分でやりたい、できる〔5〕
- ・ 自分の畜舎の飼養スペースで足りている〔9〕
- ・ 自分で放牧地を持っており、特別利用するメリットがない〔1〕
- ・ 飼養管理技術のレベルが十分でない（※受胎率が低い〔1〕）〔2〕
- ・ 防疫上の懸念がある〔1〕
- ・ 利用料金が低い〔0〕
- ・ その他〔0〕

(2) 市営牧場を利用する主な理由（複数回答）

- ① 放牧により、牛の健康増進が図られる〔8〕
- ② 利用料金が安い〔5〕
- ③ 畜舎スペースの確保〔10〕
- ④ 労働負担の軽減〔12〕
- ⑤ 飼料基盤の節減〔9〕
- ⑥ その他〔0〕

(3) 千歳市営牧場を利用して満足していますか。

- ① 満足している〔3〕
- ② まあまあ満足している〔7〕
- ③ ふつう〔2〕
- ④ やや不満がある〔1〕
- ⑤ 不満がある〔0〕

「やや不満がある」の理由

- ・ 職員の士気が低いのではないか。

(4) 利用者からの意見、要望

- ・ 配合飼料給餌は継続してほしい。
- ・ 牧草・デントコーン収穫など適切に行えるよう人員体制を整えてほしい。
- ・ 皮ふ病の治療をしっかりとしてほしい。
- ・ 受精回数が多く、受胎率が年によって変わるので安定するようにしてほしい。
- ・ 今後とも頑張ってください。